

あすみっ子田んぼ 感謝の会

松下 恵美子・江澤 芳恵(千葉市緑区在住)

大椎小に続き、1月13日2時半から、あすみ小でもYPPスタッフ、父兄のボランティアのみなさんへの感謝の会をしていただきました。

あすみ小の感謝の会は、5年生全体で教室前のワークスペースで行われました。子どもたちが4~5人ずつ机を並べグループを作り座って待っていてくれました。机の上には2~3個のおにぎりが置かれてました。給食の後、炊飯器で炊いた谷津田米をみんなで握ったそうです。会の始まりはYPPスタッフ、ボランティアの方々の紹介からでした。時間がないうえ、一言ずつでしたが、ご父兄のみなさんは貴重な体験を親子でできたことへの感謝のお言葉をいただきました。網代さんからは食料自給率の低いこの時代において自分達でお米を作ることができたことの意義を話していただきました。最後に、子どもたちの田んぼの先生役をしてくださった金谷さんから「思いやることの大切さ」を話してもらいました。

一 田んぼのこと、生き物のこと、お米のことをたくさん学んで、それらについて「知る」ことができたからこそ、みんなはお米を大事に食べよう、生き物や田んぼを大切にしようと思うことができた。同じように周りの友達、先生、お父さんお母さんのことも思いやるためには、関心を持って「知る」ことが大切!といったお話をいただきました。(詳しくは後日、谷津田だよりに寄稿していただきます。)

そんな貴重なお話を聞いた後にはみんなで谷津田米おにぎりをいただきました。給食後なのに、みんな白米だけのおにぎりを「おいしい!」とほおばっていました。お腹も満たされた後には、各クラス代表さんから感謝のことばとともにみんなからの感想文集をいただきました。一部ですが、抜粋し掲載いたします。

毎年、子どもたちの「楽しかった!」と言う笑顔と谷津田米をほおぼる顔を見たくて頑張ってるのかもしれない。お腹も心も満たされた会でした。こちらこそ、谷津田に来てくれてありがとう!と感謝の気持ちでいっぱいです。

☆子どもたちの感想文集より

・ぼくたちのいないとき、YPPのみなさんは田んぼにあるねっこをくずして田んぼづくりをすすめてくれて、ありがとうございます。じしんで田うえができなかったけど、いねかりはできました。そして、学校でこめを食べたとき、ちょっとかたかったけどおいしかったです。わら工作のとき、いろんなのをつくってみせてくれてありがとうございます。(K・T)

・私が一番心に残った事は草取りの時の事です。理由は、YPPの皆さんやお母さん方が汗をかきながら私達が米作りをする田んぼをきれいに草を取ってくれたのでうれしかったです。おかげでとってもおいしいお米ができました。ありがとうございます。草取りの時、私達は草をぬく事ができず草をはこぶ事しかできなかったのにYPPの皆さんやお母さん方がいっしょけんめいやってくれたのでうれしかったです。本当にありがとうございます。(A・I)

・かたくるしいけど、まず、ありがとうございます。YPPのみなさんのおかげで田んぼを作ることができました。最初は雑草しかなかった田んぼを私たちが入れるような田んぼにしてくれてYPPの人たちが手伝ってくれたことに感謝します。ありがとうございます。(R・W)

・あすみ田んぼのおてつだいをしてくれてありがとうございます。かなやさんは、稲の刈り方や稲のもち方などをおしえてくれてありがとうございます。お母さん方は、刈る時にうまくできなかった時いっしょに刈ってくれてありがとうございます。かなやさんやお母さん方ほんとうにありがとうございます。(Y・S)

・わたしたちの自然観察や稲刈りの時に手伝ってくれてありがとうございました。田植えはできなかったけれど自然観察や稲刈りの体験ができたのでとてもよかったです。わたしが一番印象に残ったのは稲刈りです。かまを使って稲を切ったのでとてもむずかしかったです。初体験なのですごく緊張したけれどやってみるとすごく楽しくなってきました。とても楽しかったです。ありがとうございます。また6年生になったら休みの日にお手伝いに行きたいと思っています。(Y・S)

・いろいろおしえてくださってありがとうございます。私はだっこくが一番たのしかったです。だっこくのときに、いねから米をとったり、きれいにしたり、せいまいしたり、すごくいろいろなことをして、私たちのごはんになっているとして、すごくびっくりしました。米はすごくたくさんのでまがかかっているのでもっとたいせつにしなきゃいけないんだと思いました。(T・N)

・私たちに「米の育つまで(田植え~だっこく)」のことを色々教えてくれたり、こん虫の名前や特徴を教えてくれたり、稲かりやだっこくなどを体験させてくれてありがとうございました。放射能のえいきょうで田植えができなかったけど、私たちがかわりにYPPの皆さん(先生や保護者の人も)がやってくれたので、あす



田んぼの草取りと自然観察(2011/6/28)

み田んぼに美味しいお米ができました。ありがとうございました。また、教えてもらう機会があったら、よろしく願います。(A・K)

・だっこくや稲刈りなど、いろんな体験ができてよかったです。はじめての事ばかりだったけど、楽しかったです。わたしは、金谷さんに質問して、全部答えてくれたのがうれしかったです。あすみ田んぼで作った玄米を食べた時が、玄米を食べたのが初めてでした。すごくおいしかったです。また色んな事がしてみたいです。

(W・I)



脱穀 (2011/10/19)

・YPPのみなさん、1年間どうもありがとうございました。私達がない時、田んぼのかんりをしてくれてありがとうございました。いねかりの時は、かまの使い方をおしえてくれてありがとうございました。だっこくの時は、だっこく機や千歯こきの使い方をやさしく教えてくれてありがとうございました。この1年間は、自然の大切さや食べれることの幸せをすることができました。どうもありがとうございました。(A・A)

・YPPのみなさんありがとうございました。おかげでいろいろな経験ができ、いろんなことがわかりました。稲かりのやり方、気をつけることなどをおしえてもらい、そのことをお母さんに話しました。そしたらお母さんが「すごいね～ママもやってみいなあ」といっていました。わたしは教えてもらってよかったなと思いました。皆さん、教えてくださってありがとうございました。(Y・K)

・ほくに、自然観察や稲刈りの説明やわら細工の作り方を教えてくれてありがとうございました。脱穀の時も道具を教えてくれて、うれしかったです。こ

れを生かして、もし子どもがうまれたら、この話を聞かせたいです。長い間つきあってくれてありがとうございました。(Y・T)

・YPPの皆さんありがとうございました。稲刈りのときには、やり方をおしえてくれたり、脱こくをやったときは、脱こくのやり方をおしえてもらって、いねの外国でのよばれ方や、脱こくきのせつめいをくわしくしてくれて、とてもうれしかったです。おかげでとてもお米のことがわかり、好きになりました。ありがとうございました。(M・T)

・一年間、お世話になりました。みなさんのおかげで、美味しいお米も食べられてとうもろこしのような味がしました。機械のしょうかいもとてもわかりやすかったです。ほくが一番うれしかったのは、移動教室でのわらざいくで、金谷さんにほめられたことです。一年間、どうもありがとうございました。(K・K)

谷津田いきもの図鑑 No. 52

フクロウ

フクロウにはいろいろな種類がありますが、その中でフクロウと言う名前を付けてもらっているのが今回紹介する鳥です。千葉の谷津で見られるフクロウの仲間はこのフクロウとアオバズクですが、アオバズクが夏鳥なのに対して、フクロウは一年中、谷津で暮らしています。全長が50センチくらいとカラスと同じくらい大きな鳥です。フクロウは夜行性なのでなかなか目に見ることができませんが、木々が葉を落とした冬場に斜面林の縁の木に止まってじっと休んでいる姿を日中に見かけることがあります。ただ、羽の色が地味なのでよほど気をつけて探さないと見つかりません。フクロウというと“ホッホ、ホッホ”と静かに続けて鳴く声が浮かぶと思いますが、これはアオバズクの声で、フクロウの方は“ホッホッ、ゴロスケホッホ”という谷津によく響く大きな太い声で鳴きます。フクロウの仲間は他の鳥と違って目が人間と同じように頭の前方に2つ並んでいて、獲物までの距離を正確に知ることができます。しかも、目の感度がとてもいいので、夜間でもハンティングが可能です。その分、日中はまぶしすぎるのでじっと目をつぶっている様子から“森の賢者”のイメージができたのでしょう。耳穴の位置が左右で異なっていることで音源の位置を知ることができること、羽毛がとても柔らかくて羽ばたきの音がしないことも、ハンティングに役立っています。物静かな風貌ですが、鋭い爪やくちばしはフクロウがワシやタカと同じように猛禽であることを示しています。

今年は下大和田の最初の観察会で幸運にもフクロウに出会うことができました。フクロウは意外と身近なところに暮らしていますので、みなさんもぜひフクロウ探しに挑戦してみてください。

(高山邦明)



昼間、木に止まってじっとお休み中

(下大和田にて、2008/1/26 撮影：網代春男)



里山たんけんレポート

第144回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2012年1月8日(日) 晴れ

新年最初の観察会は好天に恵まれ、どんど焼きとの同時開催でたくさんの方々が参加されました。双眼鏡を持っていない方に貸し出してピントの合わせ方などを練習してスタートしました。冬季はバードウォッチングをメインに観察会をしていますが、今シーズンは鳥が少なく皆さんに満足していただくのは難しいと内心危惧してスタートしました。案じたとおり鳥は少なく先頭を歩いている人はそこそこにアオジの姿などは見られるのですが他の方々は鳥の姿を目にできない状態でした。救ってくれたのは1羽のフクロウでした。谷津に張り出したすっかり葉の落ちた木の横枝に止まっていた。夜行性ですから休んでいたのでしょう。頸を後ろに回し背中に顔を埋めるような格好で休んでいました。時々、顔を挙げ前を向き顔面を見せてくれました。フクロウの周りでカケスがやかましく鳴いていましたが我関せずの感で止まっていました。百数十メートルの距離があったのでインパクトを与えないで全員がスコープでじっくりと観察することが出来ました。フクロウのおかげで満足できた観察会になりました。

観察会終了後、どんど焼きを始めた途端にノスリが飛んできて木に止まり、少数の方はスコープで見ることが出来ました。(参加者 大人20名、子ども10名; 報告: 網代春男)

第129回 下大和田 YPP「どんど焼きと昔あそび」

2012年1月8日(日) 晴れ

朝は冷え込んだものの、風がほとんどなかったおかげで、日が昇るとホカホカ。そんな中、恒例のどんど焼きをしました。最初にみんなで新しい年を迎えた谷津を散策(上記)。なかなか見ることができないフクロウの姿を目にすることができて、今年はさい先の良いスタートです。広場に戻るとまずはグループに分かれてどんど焼きに点火する火起こしをしました。焦げ臭いにおいがして、煙が上がってもそこから炎にするまでが大変。いつもながら今回も悪銭苦闘、一時はもうあきらめようかとも思いましたが、一つのグループが見事点火してくれて、拍手喝采がわき起こりました。大きな炎に体が一層暖まったところで、大人も子どもも一緒になってコマ回しやけん玉、カルタなどの昔あそびをしました。一番人気はべいごま。回したことがない子にはベテランさんがヒモの巻き方から回し方まで丁寧に教えてくれました。べいごまはとても難しいのでそれでもなかなか回りませんが、粘り強くがんばってついに回した子は得意げな笑顔でした。よかったね! そう、恒例の水路ポートレースでも大いに盛り上がりました。今年もよい一年になりそうな予感いっぱい新年最初の YPP でした。



火起こしして点火したどんど焼きの炎 (撮影: 田中正彦)

(参加者: 大人39名、子ども16名; 報告: 高山邦明)

第74回 小山町 YPP「もちつき」

2012年1月15日(日) くもり

去年田んぼで育てた緑米を使ってもちつきをしました。冷え込んだ上、くもり空で日差しがなく、じっとしているとふるえあがる寒さだったので、かかしのお焚き上げの炎やお米を蒸かすかまどの火がとてもうれしく感じられました。ホカホカに蒸け上がったお米が臼に移されるともちつきの順番を待つ子どもたちの列ができます。最初は大人の出番で、こねてからある程度の粘り気が出るまでついでもらいます。子どもたちには小さくて軽い杵があるのですが、やはり大人用の大きな杵を使ってみたいもの。一人が挑戦すると、私もボクもと次々に重い大人の杵をふるい、いつしか寒さを忘れていました。つきたてのお餅はお醤油、きなこ、あんこなどいろいろな味付けでいただきました。使った緑米は5分づきと玄米のままの2種類がありましたが、歯ごたえがあって、味が濃い玄米が人気でした。自分たちで育てたお米のおもちをお腹いっぱい食べて、みんな満足げでした。



小学生も大人用の杵を元気よく振り上げていました (撮影: 高山邦明)

(参加者: 大人15名、小中高生16名、幼児1名; 報告: 高山邦明)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 1月 2日 相変わらずツグミの声がしない(高山)。
1月 15日 麦の足元の土がとても乾燥していた。もう少し雨が降って欲しい(金谷)。ツグミの声なし。ジョウビタキらしいヒッ、ヒッ、ヒッが聞こえる(高山)。
1月 29日 人家の近くの畑にシロハラとアカハラの姿。林でシジュウカラ、エナガ、メジロ、コゲラの混群に出会う。ツグミの声はない(高山)。

下大和田

- 1月 4日 新年初仕事。土も凍っておらず、気温は暮れより暖かいくらい。蔵王大権現と鹿殿神社に初詣。お正月飾りが雅やかだった(金谷)。
1月 22日 雨の谷津。アカガエルの産卵を期待したがまだ卵塊はない。田んぼからクサシギが飛び立つ。ツグミの声がしない(高山)。
1月 27日 裸麦は順調、皮麦は少々小さい。日陰の残雪を見るに、23日夜の雪は10センチ弱降り積もった模様(金谷)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第130回 下大和田 YPP「アカガエルの産卵調査と田んぼ・林の手入れ」

真冬の田んぼに産卵するニホンアカガエルの卵塊数をみんなで数えます。今年は何れくらい記録されるでしょうか? 田んぼの畦の補修や林の手入れも行う予定です。

日時: 2012年2月18日(土) 10:00~14:00 小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物など。

参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第146回 下大和田 3月の谷津田観察会とごみ拾い

ニホンアカガエルの卵は大方孵化し、草々も咲き始めている頃です。冬鳥はそろそろ繁殖地へ旅立ちます。早春の息吹を感じながら谷津を巡ります。

日時: 2012年3月4日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合: 下大和田 YPP に同じ

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼第75回 小山町 YPP「自然観察会」

ニホンアカガエルの卵塊を探したり、冬の鳥たちを観察しながら、谷津を散策します。

日時: 2012年2月19日(日) 10:00~12:30 *小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

編集後記 ソフトバンクの孫氏が休耕田に太陽光パネルを置いて発電所にするアイデアを表明したことが昨年話題になりましたが、最近の新聞に農水省もそれを実現できるように土地利用や農地転換の仕組みなどを変えらるべく検討をはじめたことが載っていました。原発事故をきっかけに自然エネルギーが注目されていますが、休耕田を発電所にすることが地球にやさしいことか疑問を感じるのは私だけではないと思います。放棄された田んぼは生物多様性が大きく低下していますが、それでもたくさんの命を育てています。下大和田の広大なアシ原が太陽光パネルに覆われた風景を想像するとゾッとしてしまいます。(高山 邦明)